

批判的思考力を育成するディベートの実施

12月～1月にかけて1学年のSS生物基礎において、批判的思考力を育成するディベートが実施されています。テーマは、「使い捨てのプラスチックのストローと容器の使用を禁止すべきか」や「牛や羊のげっぷ税導入は禁止すべきか」などの環境系や、「出生前診断を禁止にすべきか」「日本は子宮頸がんワクチンを任意接種にすべきか」などの医療系がありました。

生徒たちは、図書館で関連する書籍を探したり、インターネットの各種データ、chatGPTなどを活用したりしながら、資料を集めて、班ごとに話し合い、対戦に臨みました。どの班も活発なディベートとなりました。

また、県内の教員向けに授業公開を行い、14名が見学に来校されました。本ディベートの関連資料はホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

【本ディベートの流れ】肯定立論2分、否定質問・応答3分、否定立論2分、肯定質問・応答3分、否定最終立論2分、肯定最終立論2分



課題研究の本格的な調査・研究

1月のSSH成果発表会に向けて、1,2年生の課題研究の調査や研究が行われています。「太陽光発電の効率改善」や「ミールワームのプラスチック分解」などの理科的なテーマはもちろん、プログラミングなどの情報系の課題研究が近年、人気があります。また、「投げて絶対に入るペットボトルゴミ箱の開発」や「前高生における効率的な暗記回数と時間帯」など身近な課題を解決する素朴な研究も多くみられます。さらに「スリーポイントの確率を上げるには」や「PKの成功確率を上げるために」などの部活動に関連した研究もあります。



1月のSSH成果発表会では、県内の大学等から指導助言者を迎え、日頃の課題研究の成果を発表します。保護者や県内の学校関係者も見学することができます。ぜひ、本校の課題研究を見に来てください。

【1月27日（土）SSH成果発表会】

午前：2年生の発表（学校関係者は見学可能）

午後：1年生の発表